

カイゼンベース学習コース紹介

アニメで
学ぶ

品質・生産性を維持管理する 変化点管理の進め方

本学習コースの狙い

変化点管理とは、変化点をうまく捉え、コントロールすることで不良等の異常の発生を未然に防ぐことです。本コースを通して、確実に変化点を認識することで、必要な行動を取り、あらかじめ不良が起らないよう、変化点の考え方や変化点管理について学習しましょう。

受講対象者：全部門（管理職向け）

2. 突発的変化点管理の進め方



eラーニング学習画面イメージ



カリキュラム

☑ 動画再生時間：約48分 ☑ 想定学習時間：約1時間37分

教材の構成：動画コンテンツ4ヶ，理解度確認テスト 各章5問，総合テスト 全20問

① 変化点管理とは

1. 変化点とは

製造工程において、何かを変化させた時のこと

仕事・作業をしている時の

いつもと違うこと

いつもと変わったこと

そこが変化点です

7:45

② 変化点管理の進め方（前編）

1. 変化点の種類

製造現場における変化の種類

- (原因系)
 - 管理対象の予測しない変化
 - 管理対象外の予測しない変化
 - 余裕のない変化（異常）
 - 意図しない変化
- (結果系)
 - 製品の品質特性の変化
 - 意図した変化

意図した変化

- 余裕のある変化（何かが違う、遅延等・・・）
- 設計変更による変化（特性の向上）
- 現場改善による変化（品質の向上）
- 日常の工程変更（増減/打戻）

日常の工程変更に分類されませ

9:48

③ 変化点管理の進め方（後編）

2. 計画的変化点管理の進め方（1）

関係部門と事前調整

初期流動準備完了の確認を行い、生産流動可能なことを確認後、初期流動を開始する

従来品と変更品の識別管理

エフ

生産日報

識別可能な状態にする

トレース可能な状態にする

製造現場で一目で分かるように識別すること

流動することが重要です

14:23

④ 変化点管理を行うための環境整備

5. 変化点管理のルールづくり

変化点管理を間違いなく実行するためには、変化点管理のルール化（規定化）が必須！

会社全体のルール

突発的変化点管理（変化点管理）

計画的変化点管理（変更管理）

2つの規定に分け、定期的に見直し

継続的なカイゼンの仕組みが築けるようになり、強い企業体質の醸成に繋がる！

継続的なカイゼンの仕組みが

15:46

※ 理解度確認テストは各章毎に設定されており、最後の総合テストでは全動画の中からランダムに出題されます。



カイゼンベース株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-25
TEL：03-6368-5620 FAX：03-4586-7148
お問い合わせ：info@kaizen-base.com

お申し込みはWEBサイトから！
<https://kaizen-base.com/e-learning/>

